



安心とつながるおのふ町のふたりの手をつなぐ

防災まちづくり瓦版

発行/一寺言問を防災のまちにする会

平成10年7月15日

いちでこととい
一寺言問/防災まちづくり瓦版
 編集/一寺言問を防災のまちにする会・編集局
 発行/一寺言問を防災のまちにする会
 代表 則武 勝商
 連絡先/墨田区まちづくり事業推進部地域整備課内
 〒130 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel(5608)6261

楽しきとおいしき すくすく有季園

一言会の人気事業の一つは、非常時の野菜栽培のトレーニングも兼ねた「向島有季園」です。

有季園(向島五)は、都会にも季節があることを誇るように、今年も、四季折々の花を咲かせ、野菜を実らせ、道行く人に優しく微笑みかけ、名実ともに、向島のオアシスとして定着しています。

無抽選で全員当選!

二月二十一日、「向島有季園」の新しい利用者が決まりました。今年も、十二区画に対し、十二件の応募でしたので、初めて無抽選で決定し、当日は、区画割当てのくじ引きをしました。

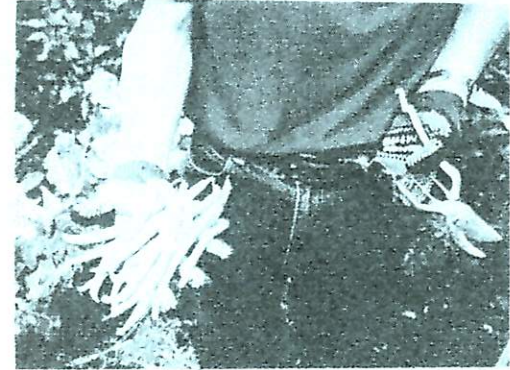
この日は、めつぼう寒い日でしたが、その後は早い春の訪れ、そして、長い菜種梅雨、初夏の好天と、作物の成育には絶好の季節変化で、利用者の皆さんはたくさん収穫を楽しんでいます。

スカッとさわやか 生け垣剪定会

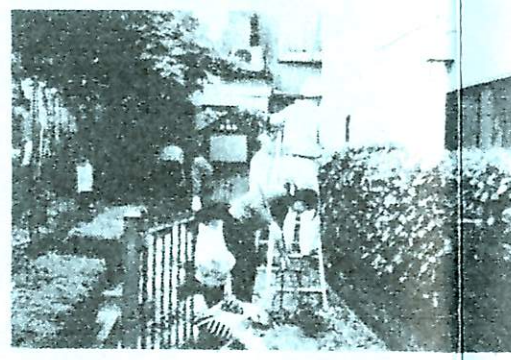
六月二十一日には、同園を取り囲む生け垣と、自慢のフジ棚およびマメザクラの「剪定会」を行いました。都会地にはどんな生け垣がふさわしいか、という実験場として、園の周囲には十種類の植物が植えられています。路地尊三号基の雨水を吸って青々と茂った生け垣は、利用者さん達の手でスカッと散髪され、みずみずしい香りを放ち、園の周辺はちよっとした森林の小道にいる気分となりました。

みんなでやればすぐ終わる

生け垣の刈り込みも
楽しみの一つと利用者さん



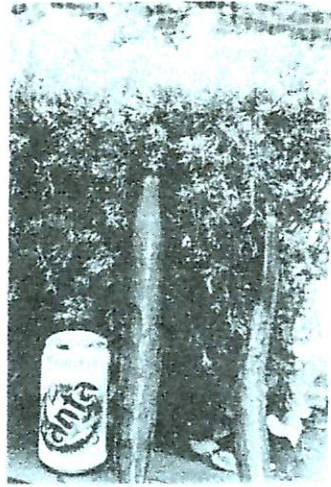
どじょういんげん
今夜はこれで一杯やる
なんてオツじゃありませんか



この記事の標題は
一言会副会長 増田さん(向5西)

今回(2年間)の
利用者さん
(順不同・敬称略)

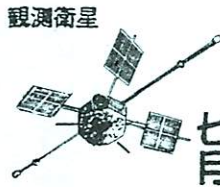
田中	孝子	一子
久保	田松	み子
滝	ふみ	邦人
今村	と	め子
大原	と	光照
日原	光	康人
石橋	正	子ト
前植	毛	守男
須田	三	郎
金山	富	
森		



日本一のキュウリ
坪単価ン万円の土地でとれた
日本一高価な作物ばかりです
見てジュースの缶の二倍以上だ

**「地籍情報緊急整備事業」を学ぶ
七月一日 一言会理事会**

東京二十三区内ではじめて
私たちのまち東向島三丁目
(宮元町会内)で「地籍情報
緊急整備事業」がはじまり
ました。



この事業は、国土庁の仕事で、神戸のように災害にあつたとき、まちの復旧を速やかに進めるため、道路(公道)の位置を最新鋭のGPS測量(人工衛星を使った測位システム)という測量技術を使って記録しておこうというものです。(簡単にいうと、みなさんの土地の測量杭が、北緯何度、東経何度というように記録され、たとえ地面や土地境界の杭

が動いても元の位置が再現できる方法です)具体的には、五月一日のNHKスペシャル番組で放映されたように、墨田区職員が住民立ち会いで道路の位置を確認し、その位置を地図上に記録するという作業です。理事会では、被災した神戸で、地境がはつきりせず、復興が遅れるなど大きな問題となつていて、それが話題となりました。

そのため、七月の理事会は担当の区職員や舞台となった宮元町会の皆さんと番組のビデオを見ながら、地境問題や事業の目的等について様々なお話しをうかがいました。

